

小学校第5学年「さまざまな土地の暮らし」に関する小学校社会科学習の工夫 ～「移住促進アイデア」を提案しよう～



小学校社会科(第5学年)では、日本の国土の地形や気候などについて学習し、人々は自然環境に適応して生活していることを学びます。今回の参考資料では、児童の学びを自分事にさせるため、総合的な学習の時間と関連付けた単元計画を紹介し、単元計画では、神石高原町を例にしていますが、第3学年での学習内容と関連付け、児童が住む市町に置き換えて学習することができます。

【単元名】さまざまな土地の暮らし ～「移住促進アイデア」を提案しよう～

目指す姿 (イメージ)	知識及び技能	・人々の生活はその立地条件に影響を受けており、とりわけ農業や暮らしについては、自然条件である土地の高低差や気候に適応して生活していることを理解している。 ・地図帳や地球儀、各種資料で調べ、まとめることができる。
	思考力・判断力・表現力等	・国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現することができる。
	学びに向かう力、人間性等	・移住アイデアについて、進んで考えたり提案したりしようとするともに、地域の発展を願っている。 ・学びの状況(内容や方法、進捗度)を捉え、好転するよう努力している。

単元の本質的な問い 地域の人々のくらしや産業は、その地域の気候や地形とどのように関係しているか。

課題の設定

総合的な学習の時間

総合的な学習の時間

情報の収集 整理・分析

社会科

総合的な学習の時間

人口を増やすためにはどうすればいいのだろうか？

北海道などは自然が多いから、人気なのではないかな。神石高原町は、他と違い、どんな特徴があるのだろうか。

神石高原町にはいいところたくさんあるのに、人口が少ないよね。

そもそも、移住者が多いところは、どんなところなのかな？

社会で他地域の自然の特色を調べてみよう！

全体学習で

学習課題(社会科) 沖縄、北海道、岐阜県の気候や地形を生かしたくらしや仕事を調べて、神石高原町への「移住促進アイデア」について提案しよう。

児童は7時間の中で、学習プリント4枚と選択式の学習課題1つ以上に取り組めます。

学習課題を複数用意することにより、児童は課題を選択し、家庭学習でも取り組むことができます。

学習プリント

- ① 気候や地形の特色
- ② 気候や地形を生かしたくらしの工夫や特色
- ③ 気候や地形を生かした産業の工夫や特色
- ④ NHK for school を視聴してまとめる

選択式の学習課題(1つ以上)

- ① 地方版人生ゲームを作ろう
- ② 移住パンフレットを作ろう
- ③ 移住おすすめ動画を作ろう
- ④ 模型を作って移住アイデアを説明しよう
- ⑤ 移住アイデアをスピーチしよう
- ⑥ その他自分たちにできそうな方法で説明しよう



個別学習で

沖縄、北海道、岐阜県の気候や地形を生かしたくらしや仕事 課題の解決に向けて私たちが調べることは何だろう。課題解決にはどんな情報が必要だろう。



対策
感染症拡大防止のため、指導者の目の届く場所で、書籍等を管理することが大切です。(三密の防止)

書籍・ICTでの調べ学習



学びの共有の場の設定



対策
個別学習を行う際には、児童に見通しを示すことや調べた内容を発信する掲示板等を設置し、学びの共有の場を設定することが重要です。(三密の防止)

まとめ・表現
社会科

沖繩では、温度も湿度も高いという気候だけれども、くらしやすいようにこんな建物の工夫があるよ。

神石高原町では、雨温図を見ると、冬の寒さに特徴があるね。薪ストーブを使ったらあたたかいし、薪ストーブがある家はあこがれるのではないかな。

全体学習で

総合的な学習の時間

神石高原町役場まちづくり推進課の方に「移住促進アイデア」を提案しよう(総合的な学習の時間)

- 学習したことをもとに、写真やグラフ、図、動画、スペシャル学習などを使ってプレゼンテーション資料を作成する。
- 発表に係る評価基準を作成する。(発表におけるルーブリックの作成(※学習指導案を参照))

対面の提案が難しい場合は、テレビ会議システムの活用も効果的です。(三密の防止)

共通の学習プリントで社会科の「見方・考え方」を働かせ、「選択式の学習課題」で多様な学びに取り組むことにより、児童は意欲的に学習に向き合うことができますね。こうした学習を基盤に、「〇〇ターン」等で実際に移住した人の話を聞いたり、他の自治体の移住・定住の好事例を調べたりする等、実社会・実生活に触れることで、さらに深い学びを実現できるのではないのでしょうか。